



第1215号  
2011年7月10日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇7月の代禱・信施奉献先  
▽海の主日 (7月第2主日7・10)▽アジア学院の働きのため  
▽聖公会八王子幼稚園のため▽女性の家HELIPのため▽滝乃川学園のため  
《奉献先から》  
滝乃川学園の働き  
滝乃川学園は、「キリスト教(聖公会)の信仰」に基づき、1891(明治24)年に創立された日本最初の知的障害児者のための社会福祉施設です。現在は、学園敷地内に知的障害児施設、障害者支援施設、認知症高齢者グループホーム、地域生活支援センターを設置し、地域での生活の場である知的障害者グループホーム・ケアホームの運営主体にもなっています。最新

この4月に洗礼・堅信の恵みに与りました。再び生まれた、という思いです。「生まれる」という言葉は、気持ちの置き方で受動にも能動にも響きます。この度も教父母は私に心深く働きかけくださり、私は肩に置かれた手の重みに応えて身に新たな力を得ました。そして関わるといふ人間の行いを改めて思いました。人が人に関わるとは、相手の心に深く踏み込み充分に働きかけることであり、そこから新しい人が生まれるという営みです。思えば私達は生の始まりから、産む者の身を賭した関わり

《み手のなかで》

### 「生まれる」

悦人 青野悦人  
形があります。別に「教わる」という言葉があります。受動も能動も含んだ、人と共にあって有難かったと礼を言うような、ふわりと自然な言葉です。「生まれる」という言葉と通じるものがあると思います。  
人が人に関わることが味ま

(香蘭女学校教頭)

今週・来週の予定	
7月10日～23日	
10 (日)	主日 教会 後ミカエル 臨聖祭 降巡聖 聖教巡
12 (火)	聖歌キヤン 銀礼拝 打置委 常財環
14 (木)	協議会 委員 協員 委員
15 (金)	主日 教会 後ミカエル 臨聖祭 降巡聖
17 (日)	主日 教会 後ミカエル 臨聖祭 降巡聖
19 (火)	協議会 委員 協員 委員
20 (水)	協議会 委員 協員 委員
21 (木)	協議会 委員 協員 委員
23 (土)	協議会 委員 協員 委員

▽7月銀座朝拝会 12日(火) 7時半。喫茶室ルノアール・ニ  
司祭 菅原裕治  
ユ一銀座。26日と8月は休会。照会TEL042(796) 149 8・世話人。  
▽7月西新の会 12日(火) 19時半||聖餐式・聖書の学び(鈴木裕二司祭)。26日(火) 10時半||聖書の学び(田光信幸司祭)。8月は休会。井草地域市民センター。照会TEL03(395)5010・目白聖公会。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

## 正義と平和協議会

## 運営委員会報告 (6月28日)

\*議長報告 7月16日に予定していた正平協主催の報告会は、日時を変更し、7月23日(土)臨時教区会後、13時半〜15時に教区会館で開催する。テーマは「東日本大震災復興支援―日本聖公会が出来ることは何か―」、報告と意見交換。引き続き15時より正平協議会を行い、加盟各団体の活動報告を分かち合う。

\*協議事項 平和メッセージ作成、発行の準備。協議会便りを別途作成、報告会と協議会内容を合わせて印刷する事を決定。

\*8月5〜6日の広島平和礼拝に参加を呼びかける。

▽教区中高生夏キャンプ ねつけつ! 8月7日(日)午後

(9日(火))の日程で教区中高生キャンプが富士箱根ランドスコレプラザホテルで開催される。今年度は教区中高生活動支援有志団体COAとの協働、信仰と生活委員会主催。また、東北教区宣教部の後援をうけ東北教区の中高生も招待する予定。参加費は1万8千円。申込みは専用フォームに記入の上、7月20日までに教区事務所宛 FAX で。照会 1103 (3422) 1037・須賀司祭。

▽聖バルナバ教会パイオルガンに親しむ会 楽器の構造の説明、演奏、試奏など。お話・演奏 明石京子(同教会オルガニスト)。7月24日(日)14時。無料、予約不要。照会 1103 (3268) 8067・同教会。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

## 【クローズアップ】89

## 新しい『こども聖歌集』に向けて

6月4日(土)聖パウロ教会で行われた、信仰と生活委員会主催「こどもの聖歌を歌う会」に参加しました。

1969年に、日本聖公会の『こども聖歌』が発行されて40年余り。今、各教会の日曜学校で歌う聖歌は様々なこども聖歌(賛美歌)集からそれぞれ選択して用いているのが現状です。

『聖歌集』も、定着してきた昨今、新しい『こども聖歌集』への期待も高まっています。

まず実際に歌うことからスタート。日本聖公会『聖歌集』、日本基督教団出版局『こどもさんび

か』、キリスト教保育連盟『幼児さんびか』、日本聖公会『こども聖歌』からそれぞれ教曲ずつ(計20曲)を皆で歌ってみました。チェックリストをつけながら、新しい『こども聖歌集』にどういうものが必要であるかを考える機会となりました。

また後半は、目白サイインランゲージの方々の指導で、こども聖歌を手話で歌う(表現すること)にチャレンジ。声に出して歌うだけではなく、手話という表現方法でも共に賛美ができる喜びが深まりました。

そして最後は新しい『こども聖歌集』編纂に向けての懇談。

◎実際に日曜学校礼拝で使えるものを期待する。◎教会暦に沿った歌を大事にしたい。

▽教役者会主催「東北地方太平洋沖地震を覚えての聖餐式」  
3月20日から毎月第3主日に開催し7月17日(日)も18時から主教座聖堂で行う。今後も18時から聖アンデレ主教座聖堂で捧げられ、参加を呼びかけている(8月21日、9月18日、10月16日、11月20日、12月18日)。

◇緊急支援物資活動協力への感謝と報告 5月末から開始した「緊急支援物資活動」は6月17日(金)で閉め切られた。6月末現在、宅配便等86件、対策本部に直接持込み62件で、提供者の延べ人数は、250人を超えた。支援物資は順次東北教区へ搬送された旨、各位への報告と謝辞が支援対策本部補給部から寄せられた。

◎幼稚園や保育園で元気に楽しく歌っている賛美歌を、教会でも用いたい。◎案外さし絵も大事。字の読めないこどもは絵を見て歌を覚えている。◎こどもたちの感性はとても豊か。調性やリズムがポップな現代風のものも取り入れては… 等各教会で実際に日曜学校に携わっている方々から活発な意見が交わされました。

新しい『こども聖歌集』の出版へ向けて、その可能性を探り期待が深まるとても有意義な時間でした。感謝。各教会がそれぞれ異なる状況にあっても、主のこどもたちとささげる礼拝がますます元気の賛美の歌声で満たされますよう祈ります。

聖パウロ教会 阿部順子